

やってみたい！ 表したい！ 作りたい！

## 原市南小 図工の導入 レシピ集

### 4年 「へんてこ山のへんてこストーリー」



#### 導入で使う材料

- ・紐 2本
- ・画用紙 1枚

#### 導入のポイント

へんてこな山を書いてみよう!と言っても、児童は「山」の言葉にとらわれて、富士山のような外形を書いてしまいがちです。そこで、紐を使ってみましょう!「これまで見たことのないような形をつくってみよう!」「へんてこなほどいい!」と投げかけます。実際に先生がへんてこに紐を置くと、児童から「変な形!」「おもしろい!」「ひっくり返してみてもいいよね!」「入り口はどこ?」と大喜び。早く自分も表してみたいという気持ちが高まっていきます。児童が表した後は、「どこがへんてこ?」「どんな山なの?」「何が起るの?」などと机間指導で発問してみましょう。紐が表す形から、児童はどんどんストーリーを膨らませていきましょう。



導入は、前に集めて。



紐の良さは、何度でもやり直せる!

### ①特別支援「グアナコ・エルマーから想像を広げて」



#### 使う材料

- ・黒板
- ・チョーク

#### ポイント

- ・本題材は、「グアナコ」「エルマー」という言葉だけを提示して、その名前から想像する生き物を描く学習である。本学級は、特性上、言語理解や言葉の組み立てに課題を持つ児童が多い。そこで、教師から「グアナコの体はどんなかんじ?」「どんな場所に住んでいるの?」「何を食べるの?」「得意なことは何?」など質問をし、そこから想像を広げていくようにした。また、自分の想像を話す際に、うまく言葉が見つからない児童には、適切な言語にするのを助けてあげる支援をした。また、思いを一生懸命に紡ぐ児童には、十分な時間をとって「待つこと」を大切に。やっと思いを表してきた児童には、できるだけ温かい言葉で対話をし、「話していいんだ」「話すことって楽しんだ」という経験を持たせた。
- ・こうした支援により、児童はたくさんの想像を膨らませ、書き出しに困る児童はいなかった。



ブレインストーミングを活用して



画用紙をたくさん用意して、書き直しを恐れないように

# 「だんだんあふれて、いい感じ」

令和6年6月13日 5年2組

段ボール片の形を変えた姿から想像を広げ、組み合わせやバランスを考えたり試したりする中で、自分の表したいものを発想し、表し方を工夫して立体に表す。

第1時

段ボールを触って、段ボールの新しい形を見つけよう。

＜表したいことを見つけ、どのように表すかを考える＞  
段ボールの面白さに気付かせる時間の設定



切ったり、はがしたり、穴を開けたり、いろいろなことができるね。

たくさん切り込みを入れて、反らしたらお花の形に見えてきたよ。

第2時

本時

段ボール片の新しい形を「いい感じ」に組み合わせ、表したいことを見つけよう。



いろんな角度から見るとおもしろいね。ゴージャスな鳥にしていきたいな。

いい感じ！最初は未来の乗り物だったけど、かぶるものもいいかもれない！

第3時

第4時

自分の主題にせまれるように、さらに工夫して表そう。

＜自分なりの意味や価値を作り出す。＞  
児童同士の自然な対話が生まれる場の設定（ステージの設定）



第5時

お互いの作品を鑑賞して、友達のよさを伝えたり感じ取ったりしよう。

組合せ×バランスにつながる言葉にする振り返り



チツクン花  
カッターで切って、反らした形でトゲトゲを表しました。

鹿ビルにさいた花  
切って、はがした段ボールで「つた」を表現しました。

フロッコリーの家  
段ボールを細かく切り刻んでフロッコリーの芽を表しました。

# 「わたしが だい1発見者！」

令和6年6月20日 3年2組

抽象画に描かれている形や色など全体的な雰囲気から感じたことを基に、表したい架空の生き物を発想し、表し方を工夫して絵に表す。

第1時  
本時

絵を鑑賞して、だれも見たことがない生き物を生み出そう。

＜表したいことを見つけ、どのように表すかを考える＞  
抽象画を見て想像を膨らませる時間の設定



くねくねの線はしっぽに使えそうだよ！明るい色の生き物にしようかな。

優しい感じを表したいから、絵の具を使って描いてみるよ。

第2時

第3時

物語を考えながら、表したいことを工夫して表そう。

＜表したいことを表現できるように、表し方を工夫する＞  
考えたお話から、生き物の特徴や場面を工夫して表す。



飛行機よりも高く飛べる生き物にしよう！足も太くして、力強さを出そう。

振り回りをパソコンに記録していくことで、今までの自分の考えや変容を見ることができるよ。

第4時

友達にだれも見たことのない生き物のことを話して鑑賞しよう。



空とぶへび

空をとびまわって地面にいる獲物をとらえます。このへびは、夜に活動します。寝ている獲物を空からねらいます。

みらいの天ごく

一人の女の子が、みらいの天ごくに行くと、何日も何日もあそびつづけました。でも、女の子はいつのまにか天使になってしまいました。

世界をとびたつスミラゴン

スミラゴンはみんなをまもる最強のドラゴン。見た目はこわいけど、中身はやさしく、なかよくなりやすい。全長1230mぐらいの大きさ。

# 「まほうの色水で なにしよう」

令和6年9月19日 2年3組

インクや水彩絵の具を使って、色水をつくりながら、さまざまな色水のよさや面白さに気づき、試したり工夫したりしながら色水で遊ぶことを楽しむ造形遊び。

第1時

食紅を使って、色水をつくってみよう。

＜材料や用具と向き合う時間の設定と児童の気付きに共感する働きかけ＞  
色水を見たり、つくったりすることで、様々な色に気付くことができるようにする。



食紅を入れて、ふりふり…。きれいな色水ができたよ！

自分だけの色水ができたよ！この水を使って、もっと遊びたいな！

第2時

本時

まほうの色水で 何しよう。

＜自己決定のきっかけづくりと対話を生み出す工夫＞  
色水や透明容器を見ながら自分のイメージを伝え合って、自分が使いたい色や形を決められるようにする。材料の置き場所や活動場所の設定を工夫し、自然に対話できるようにする。



たまごカップにいれてみようかな。いろんな色を入れたらどうなるかな？

いろんな色を並べてみるときれいだね。ジュース屋さんになった気分！

第3時

友達のつくったものを見ながら、どのような工夫をして活動したのかを伝え合おう。

＜語る場の設定＞  
教師や児童同士が活動に共感することで、児童が自分の色水に対しての意味や価値を見いだせるようにする。



花壇に並べてみたよ！色水のお花がいっぱいさいたね！

先生達に元気になって欲しいから、先生用の玄関に並べてみたよ！

みんなで協力して階段に並べてみたよ！！いつも使う階段だけど、色水で楽しい階段に変身したね！

